

《別紙 報告第4号》

# 令和3年度 高山西商工会

実態調査カルテ集計結果 (R4.3.23時点)

# 調査概要

調査目的: 会員の実情や意向に沿った的確かつ適切な経営指導をより一層進めるため

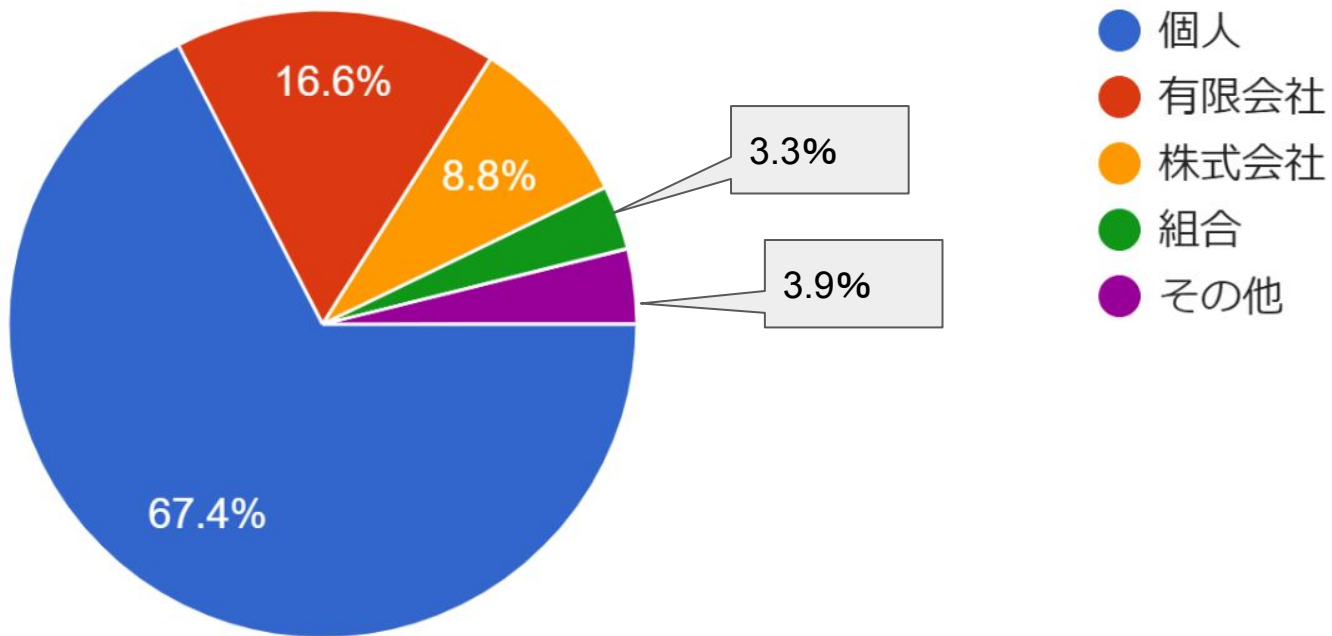
調査対象: 高山西商工会員 307事業者(一之宮114、清見125、荘川68)

調査時期: 令和3年12月上旬～(提出期限: 令和3年12月24日)

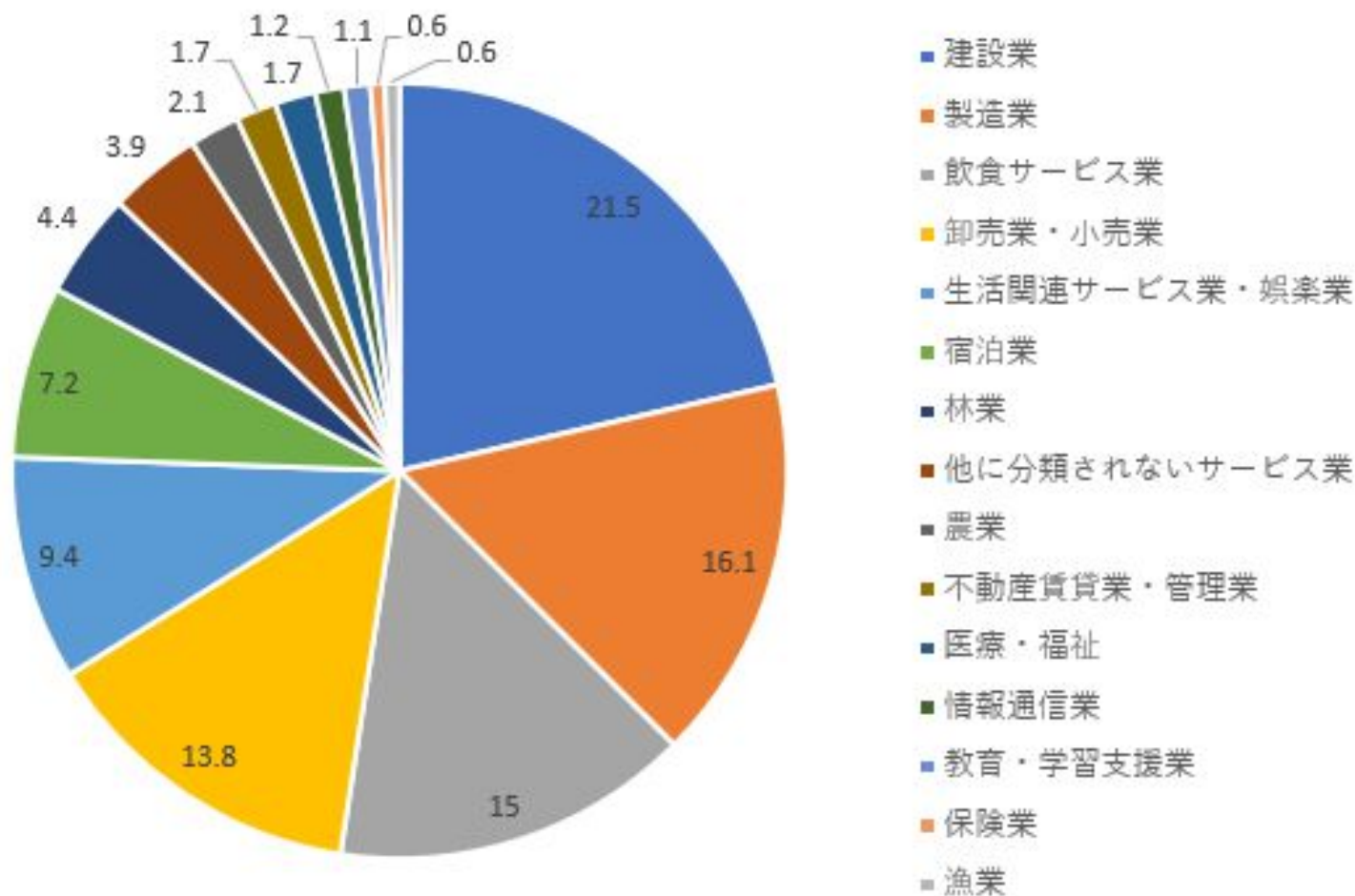
回答件数: 181件(回収率58%)

調査内容: 事業所情報、代表者情報、今後の事業展望について、事業承継について、  
インボイス制度の認知度について、DXへの対応について、  
新型コロナ関係の支援金等の利用実績について、商工会への要望

# 企業形態



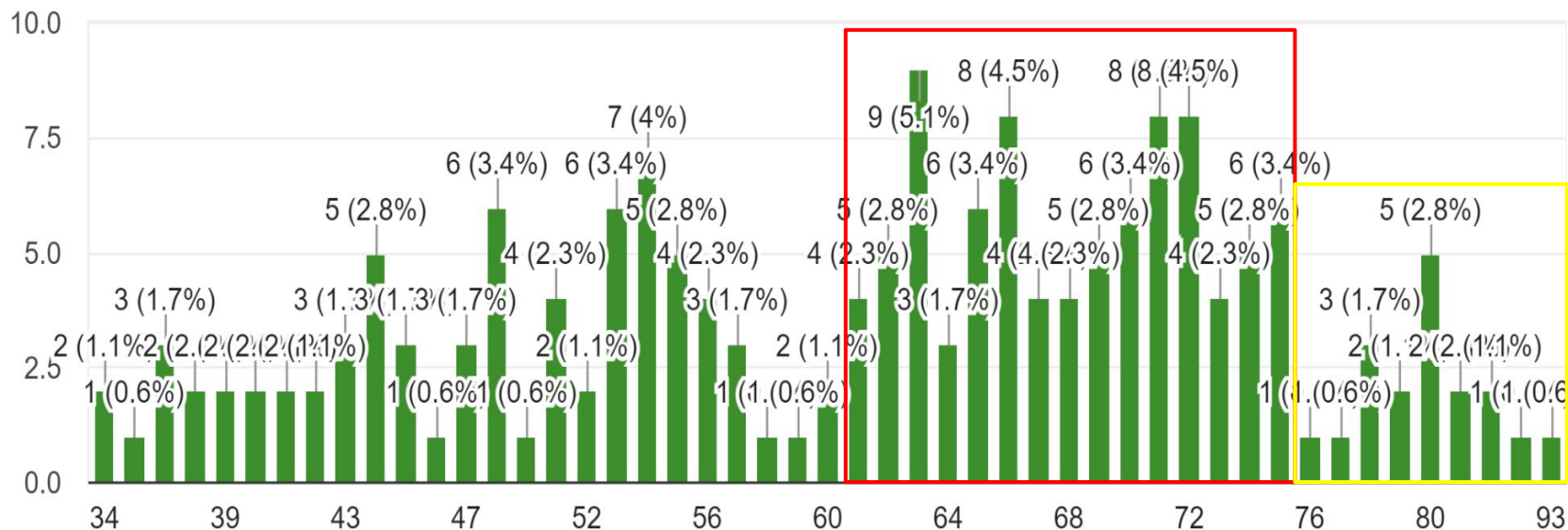
# 業種



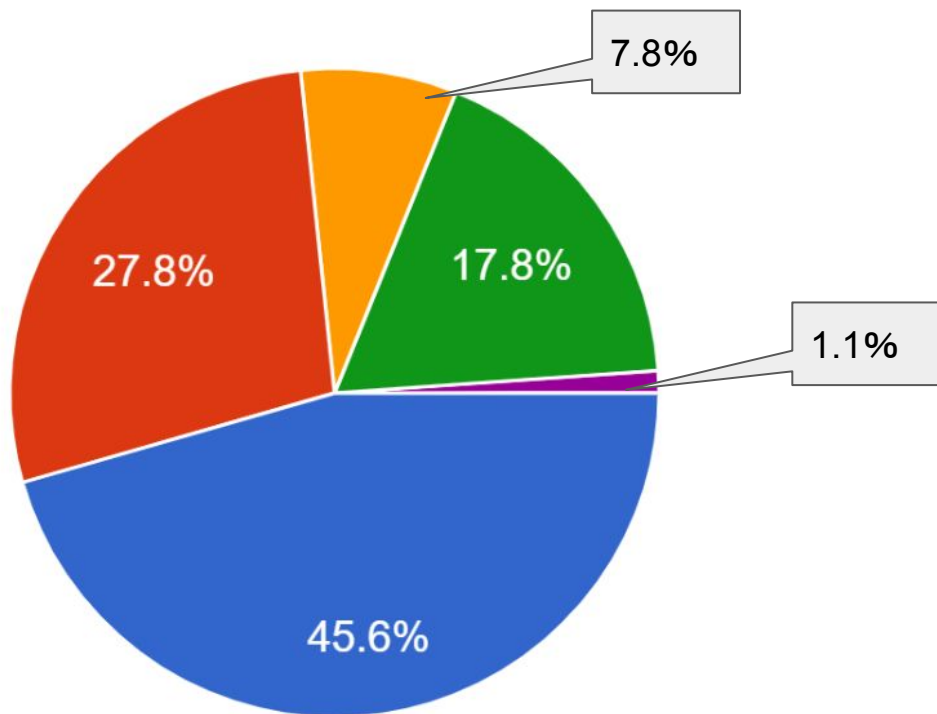
# 代表者年齢

61歳～75歳は85名で全体の48.3%を占める。  
また、76歳以上は18名で1割を占める。

176件の回答



# 今後の事業展望・予定



- 現状維持
- 拡大・拡張
- 縮小
- 廃業
- 無回答

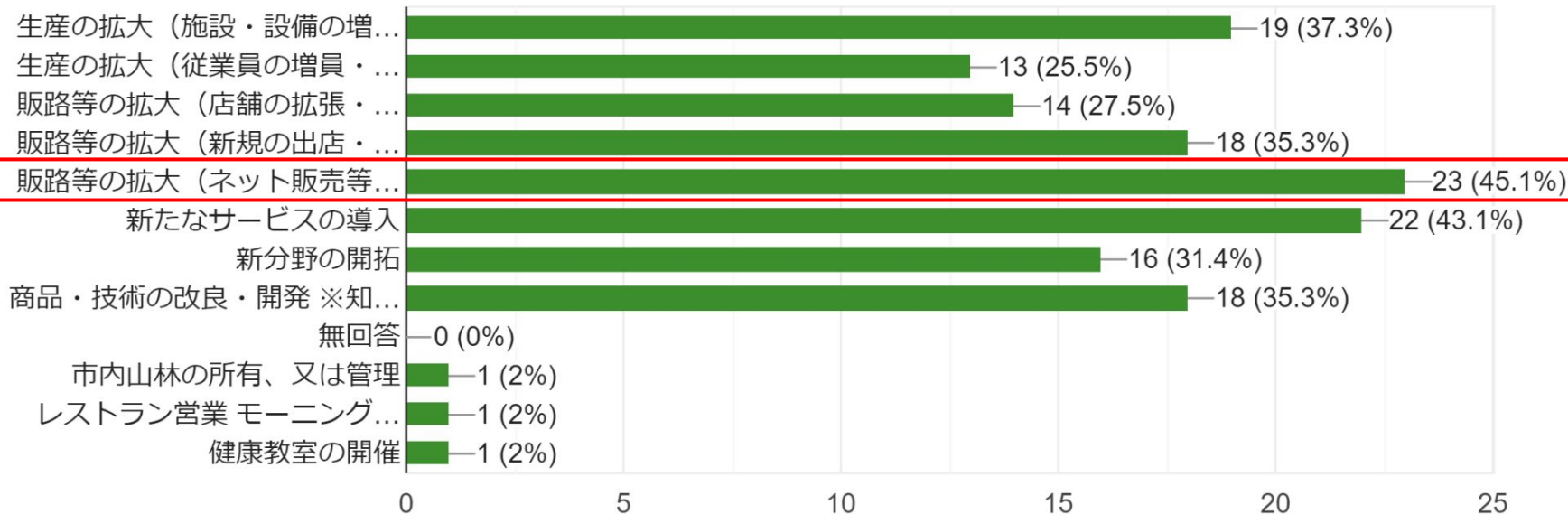
## 廃業予定時期

- 2年後 … 9.4%
- 3年後 … 9.4%
- 5年後 … 18.1%
- 10年後 … 9.4%
- 未定 … 9.4%
- 無回答 … 28.1%

# 今後の事業展望・予定(拡大・拡張の場合)

51件の回答

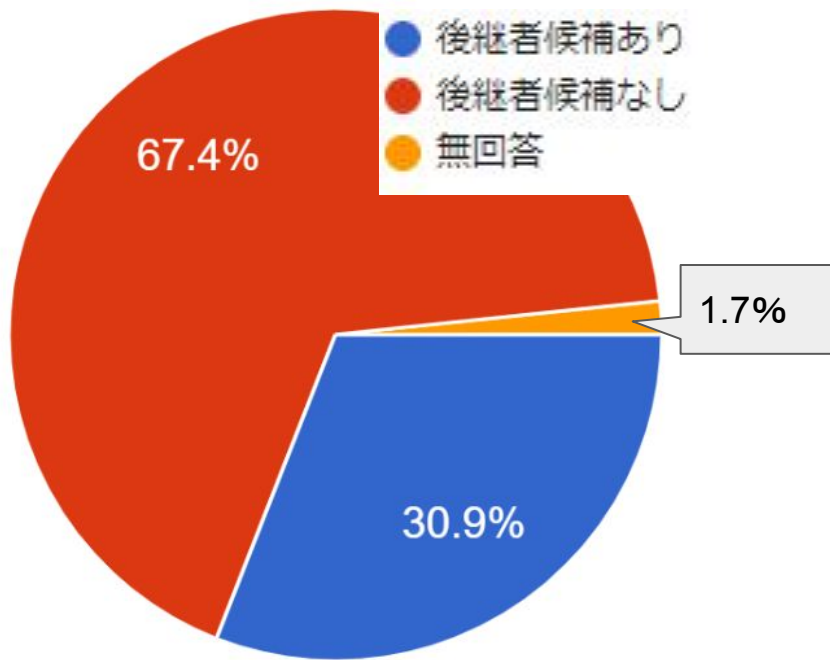
ネット販売等に取り組みたいと回答された方が45.1%と最も多く、引き続きセミナー等の情報提供や専門家派遣による個社支援、ECサイト整備に活用可能な補助金制度等の活用支援を実施する。



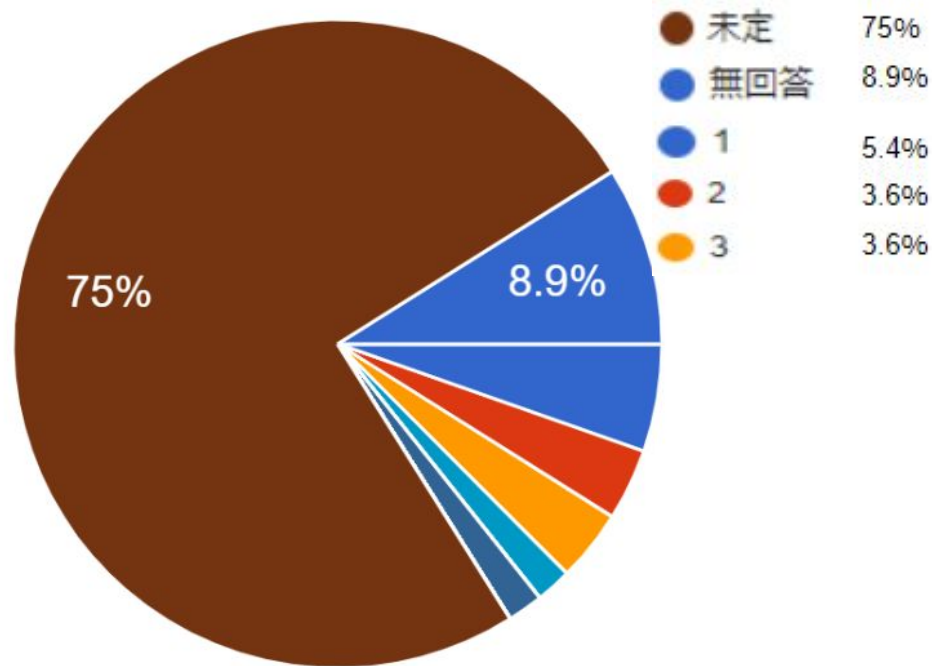
# 事業承継について

「後継者候補あり」と回答した 30.9%の事業所のうち、75%の事業所が承継時期は未定と回答。

## 後継者の有無

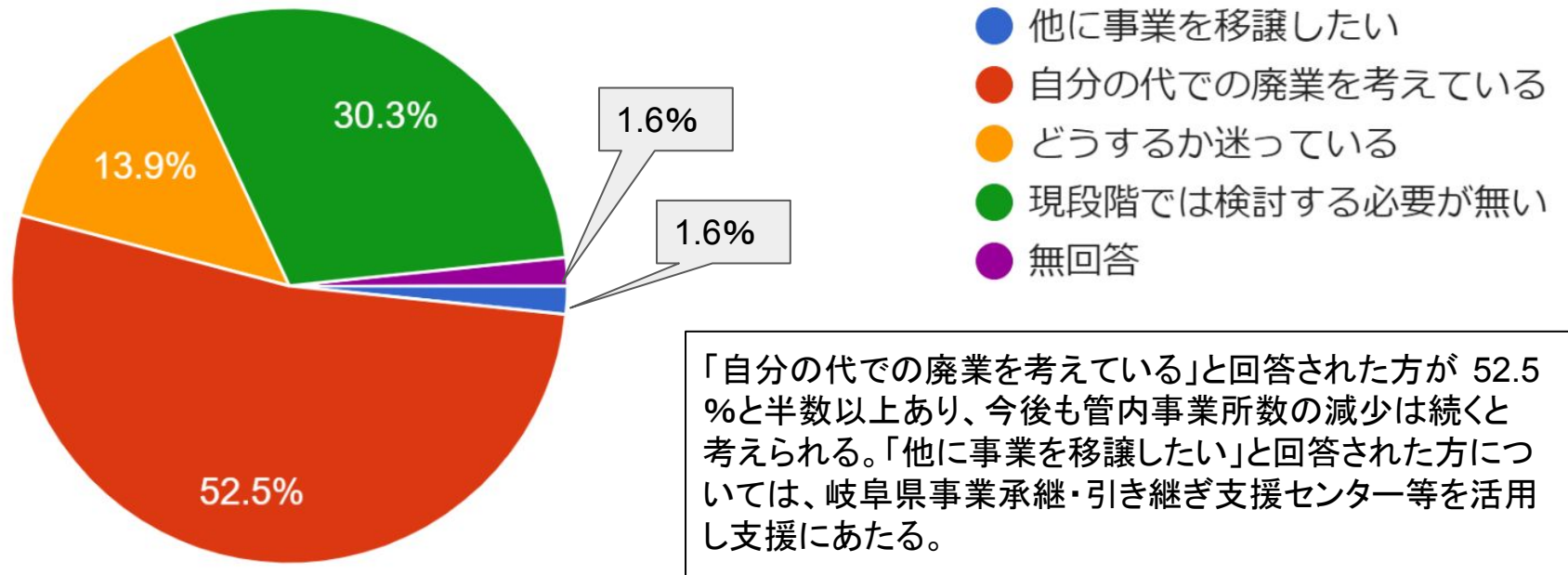


## 承継時期(○年後) 後継者候補ありと回答された方の内

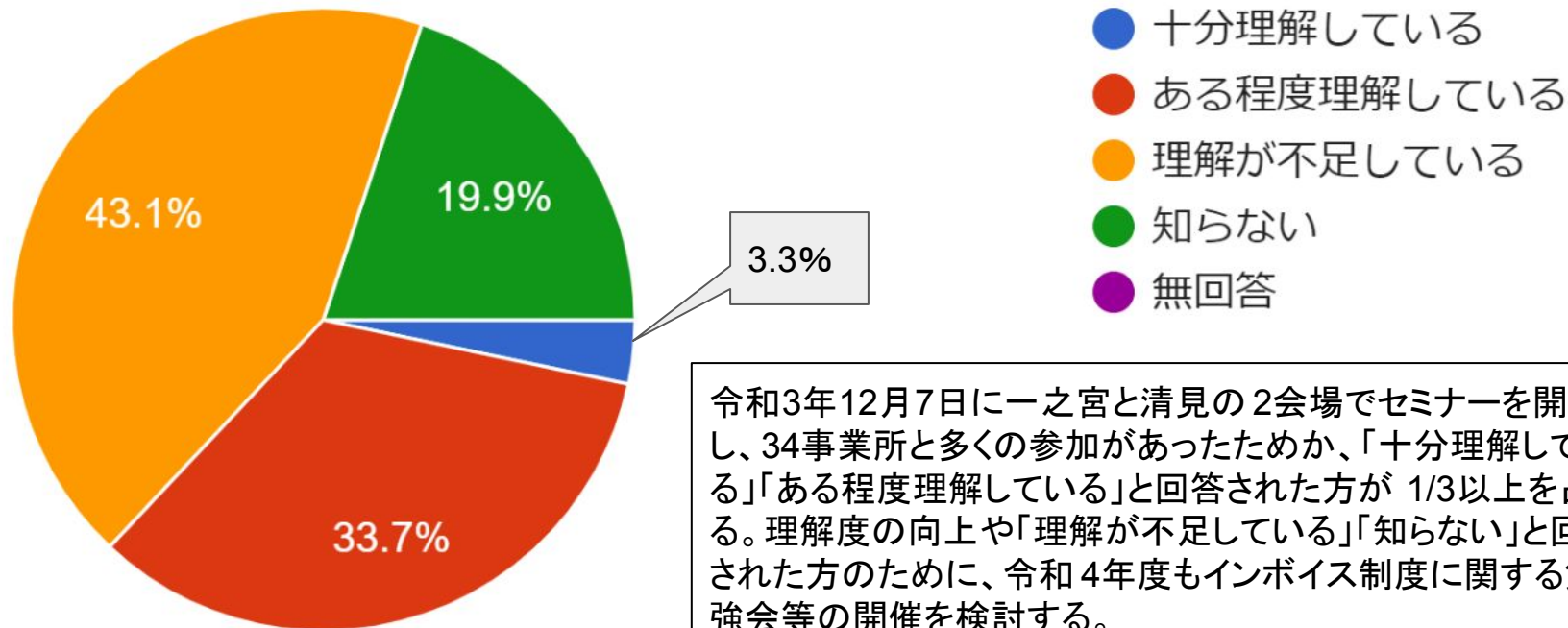




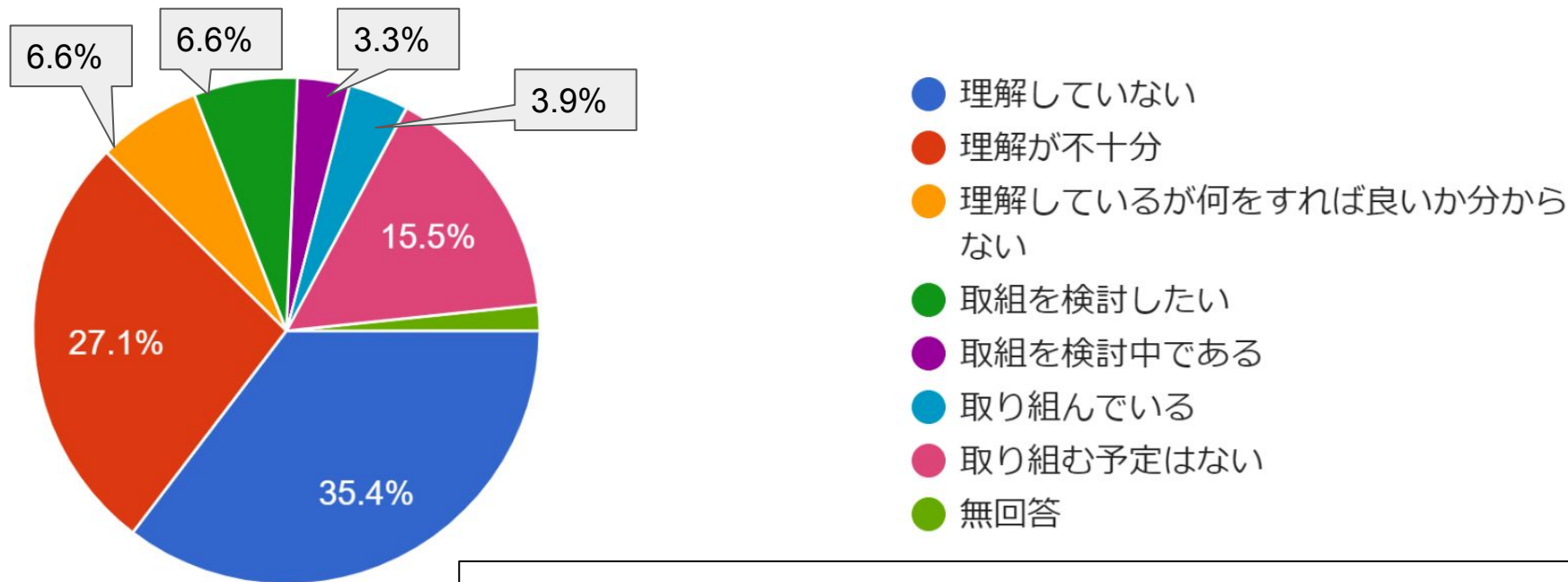
# 事業承継に対する現段階での考え



# インボイス制度の理解度



# DX(デジタルトランスフォーメーション)について



DXについての理解度は低いが、既にDXに取り組んでいる事業所や、取組を検討している事業所もある。導入に関する相談があれば、概要説明から補助金等の支援施策の活用支援、専門家による支援などを実施する。

## 自由記入欄(抜粋)

### 【今後商工会に何を相談し、指導や助言を受けたいですか？】

「DXとは何か？労務関係の知識や補助、活用法も再度知りたい。今まで支援していただいたHP、販売サイトを作ってから見直し活用が上手くできないでいる為、見直しや活用方法を改めて学びたい。POSシステムを導入する上での一連の費用やIT補助金について知りたい」

「商品開発のための補助金導入に対する支援をお願いしたい」

「支援金・補助金のお知らせや助言、インターネットやHPの活用の仕方を教えて頂きたい」

「ネット販売の指導」

「何をやるにも手が足りない単独事業者の業務効率に有効な情報提供や助言。場合によっては、作業支援もお願いできたら助かる。」

「法人にするかどうかのタイミングを相談したいです。」

「宿泊業を始める時の指導や、新しく製造業を始める時など、色々なことの手続きの指導をして下さると助かります」

「必要だと感じた際は研修等に参加させて頂いています。やはり現在はインボイスの勉強がしたいです」

「事業承継について、事業を移譲したいと考えているが、方法等の助言を受けたい」

「商工会だよりの他に個別訪問・電話等がほしい。電話でのアプローチも積極的に行ってほしい」

「いつもいい指導をうけ本当に感謝しております。今後も色々助言などをよろしく願います」

調査へのご協力、ありがとうございました。

会員事業者様の経営状況やお悩みを的確に把握するために、  
今後も定期的にこのような調査を行っていききたいと  
考えております。

その際は何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

— 高山西商工会 —